



大西 社長

同社は、藤沢市を中心に不動産買い取り再販事業、不動産分譲事業、不動産売買仲介を展開している。大西社長が林業に関心があったことから、林業事業

ビルドトラスト(神奈川県藤沢市、大西武史社長)は、2023年から林業、製材業を開始し、生産した内装材、家具、フェンス材を自社不動産案件で活用している。

林業、製材業に参入

自社林活用し木材製品の製造

を始めた。大西社長は自ら自伐型林業の講習を受け、そこで出会った人材を同社の林業事業に採用した。また林業の状況を学ぶため、

奈良県吉野郡にある松尾木材で指導を受け、ビルドトラストの林業作業員も吉野地区で林業の修行を行った。また、群馬県伊香保

崎市に製材所を開設。23年に富士製作所の製材機を導入し、木材製品を製造できる体制を整えた。大西社長は「林業従

ビルドトラスト

事者の不足により山林を活用しきれしていない状況などを知り、林業への関心が高まった。人材や人脈も不足していたが、自伐型林業の講習を受けるなかで多くの人々と出会い、事業としてのめどが立った」と語る。

同社は、時期に応じて製材工場で作業するなど、年間を通じて林業業者の仕事を確保していく。自社林で伐採した丸太は、リノベ

業で販売する物件の壁材やカウンターなどの内装材、家具、フェンス材などとして生産する。このため、製材工場への皮むき機、丸鋸機械、プレーナーの追加設備も予定している。

大西社長は「これまででは不動産事業が中心で林業は異業種だったが、私見ではまだ様々な異業種とのつながりで伸びていける産業だと思う」と述べている。